

清水高原のつつじは4種類

2013年5月28日 澤田 繁 著

清水高原のつつじは、やまつつじ・むらさきやまつつじ・れんげつつじ・みつばつつじの4種類が確認されました。

やまつつじは、高原に最も多くある種類で、高原入り口(1000m)から1400mくらいまで広範囲に自生している。やまつつじは、太陽にあてればあてるほど花の数が多くなり、写真の様に見事な花振りになる。

20数年前に清水高原は6月はやまつつじで赤くなりましたが、それから唐松・赤松・栗と言った木が樹齢50年を向かえ太陽を遮っています。2年前自宅入り口の木を切り日が当たるようにしたやまつつじ(写真)が見事復活しました。



<やまつつじ 2013.5.28>

やまつつじはそれでも木の中で少しでも咲こうと頑張っています。やまつつじは一つの木では見頃は約1週間くらいですが、高原全体では咲く時期にかなりのばらつきがあり約1ヶ月の間見られます。



<みつばつつじ 2013.5.20>

みつばつつじは、名前ののごとく葉が3枚のピンク色のきれいなつつじです。やまつつじより早く咲き1週間くらいで散ってしまいます、自宅と清水寺の下で見られます。



<紫山つつじ 2013.5.21>

むらさきやまつつじは、5月中旬ころ咲きはじめます。紫よりピンクに近い色ですが、日当たりの良い株が多くある木の花はやはりきれいです。清水高原では標高1200m~1400mの間に見られる。つつじの時期の始まりとして貴重なものなので、少しづつまわりの雑木を切って日をあてていこうと思っています。



れんげつつじは、花が大きく、花数が複数さけば見えていても気持ちいいつつじです。数年前より自宅周辺で育てていますが、なかなかクマザサの身(60cm)を超えられず、悪戦苦闘しています。清水高原でもかなり広範囲に自生していると思いますが、成長が遅いこともあり、花までにするには人の手がかかり必要となります(無理かな~)。

歳時記ホームはこちら

<http://www.go.tvn.ne.jp/~sawada/saijiki/saijikihome.htm>